

協会記事

平成29年度事業報告

1 会議

(1) 総会

日時 平成29年4月21日（金）13時30分～14時30分
 会場 横浜開港資料館 講堂
 議題 ア 平成29年度役員の交替について
 イ 平成28年度事業及び決算・監査について
 ウ 平成29年度事業計画及び予算（案）について
 エ 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 報告事項 ア 新規入会の館園について
 イ その他
 表彰 平成29年度神奈川県博物館協会表彰

(2) 役員会

第1回

日時 平成29年4月21日（金）11時00分～12時00分
 会場 横浜開港資料館 講堂
 議題 ア 平成29年度役員の交替について
 イ 平成28年度事業及び決算・監査について
 ウ 平成29年度事業計画及び予算（案）について
 エ 平成29年度神奈川県博物館協会表彰候補者について
 オ 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 報告事項 ア 新規入会の館園について
 イ その他

第2回

日時 平成29年12月7日（木）14時00分～16時00分
 会場 神奈川県立歴史博物館 仮事務所 会議室
 議題
 報告事項 ア 平成29年度事業実施状況について
 イ 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 ウ その他

第3回

日時 平成30年3月8日（木）13時30分～15時00分
 会場 神奈川県立歴史博物館 応接室
 議題 ア 平成30年度事業計画及び予算（案）について
 イ 平成30年度神奈川県博物館協会表彰候補者について
 ウ 神奈川県博物館協会災害時相互救済活動の体制について
 エ その他
 報告事項 ア 平成29年度事業実施状況について
 イ 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 ウ その他

(3) 合同部会

第1回

日時 平成29年5月11日（木）
 会場 神奈川県立歴史博物館 仮事務所 会議室
 議題 ア 平成29年度部会幹事の交替について
 イ 平成29年度事業の実施状況について
 (ア) 普及事業について
 ・神奈川県博物館協会会報第89号について
 ・ぐるりかながわミュージアムマップ2017について
 (イ) 協会ホームページ更新事業について
 (ウ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について

ウ 平成29年度研修計画について
 (ア) 第2回研修会について
 (イ) 第3回以降の研修会について
 エ 平成29年度東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部総会について
 オ その他

第2回

日時 平成29年7月12日（水）
 会場 神奈川県立歴史博物館 仮事務所 会議室
 議題 ア 平成29年度事業の実施状況について
 (ア) 普及事業について
 ・神奈川県博物館協会会報第89号について
 ・ぐるりかながわミュージアムマップ2017について
 (イ) 協会ホームページ更新事業について
 (ウ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 イ 平成29年度研修計画について
 ウ 平成29年度東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部総会について
 エ その他

第3回

日時 平成29年9月20日（水）
 会場 神奈川県立歴史博物館 仮事務所 会議室
 議題 ア 平成29年度事業の実施状況について
 (ア) 普及事業について
 ・神奈川県博物館協会会報第89号について
 ・ぐるりかながわミュージアムマップ2017について
 (イ) 協会ホームページ更新事業について
 (ウ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 イ 平成29年度研修計画について
 ウ 平成29年度東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部総会について
 エ その他

第4回

日時 平成29年11月14日（火）
 会場 神奈川県立歴史博物館 仮事務所 会議室
 議題 ア 平成29年度事業の実施状況について
 (ア) 普及事業について
 ・神奈川県博物館協会会報第89号について
 ・ぐるりかながわミュージアムマップ2017について
 (イ) 協会ホームページ更新事業について
 (ウ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について
 イ 平成29年度研修計画について
 ウ その他

第5回

日時 平成30年1月18日（木）
 場所 神奈川県立歴史博物館 仮事務所 会議室
 議題 ア 平成29年度事業の実施状況について
 (ア) 普及事業について
 ・神奈川県博物館協会会報第89号について
 (イ) 協会ホームページ委員会について
 (ウ) 神奈川県博物館協会総合防災計画について

- イ 平成29年度研修計画について
- ウ その他

第6回

- 日時 平成30年3月8日（木）
- 場所 神奈川県立歴史博物館 応接室
- 議題 ア 平成29年度事業の実施状況について
- イ 平成30年度事業の実施計画（案）について
- ウ 平成29年度東海地区博物館連絡協議会理事会・総会、日本博物館協会東海支部総会等について
- エ 平成30年度部会幹事について
- オ その他

2 研修

(1) 部会主催研修会

第1回

- 日時 平成29年4月21日（金）
- 会場 日本新聞博物館
- 内容 日本新聞博物館のリニューアル見学
- 講師 日本新聞協会 博物館事業部博物館担当主管兼学芸員 赤木 孝次氏
- 担当部会 3部会合同
- 参加者 45名

第2回

- 日時 平成29年6月20日（火）
- 会場 横浜・八景島シーパラダイス「うみファーム」
- 内容 施設見学と「海育『育てる』『獲る』『食べる』」を体験
- 講師 横浜・八景島シーパラダイス「うみファーム」学芸員 村山 早紀氏 西川 弥緒氏
- 担当部会 自然科学部会
- 参加者 29名

第3回

- 日時 平成29年10月3日（火）
- 会場 相模原市立博物館
- 内容 総合防災計画の説明と防災訓練及び梱包の実技研修
- 講師 神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 鈴木 聡氏
- 担当部会 総合防災計画推進委員会 機能研究部会
- 参加者 60名

第4回

- 日時 平成29年12月21日（木）
- 会場 大磯町郷土資料館 旧吉田茂邸（大磯町郷土資料館別館）
- 内容 講演「大磯町郷土資料館のリニューアルについて」
見学 大磯町郷土資料館の施設と展覧会
旧吉田茂邸（大磯町郷土資料館別館）
- 講師 大磯町郷土資料館長 國見 徹氏
- 担当部会 人文科学部会
- 参加者 31名

第5回

- 日時 平成30年2月10日（土）
- 会場 川崎市市民ミュージアム
- 内容 知っておきたい博物館の話「博物館のまわり：ボランティアの活躍」
基調講演「博物館とボランティア：様々なミュージアムから見えること」
講演、報告とディスカッション「今、学芸員に求められるもの」
- 講師 基調講演：元横須賀市自然・人文博物館長 林 公義氏
報告：平塚市博物館 体観察会 永井 和男氏
相模原市立博物館市民学芸員 畠山 義道氏 ほか
- 担当部会 3部会合同

参加者 59名

3 普及事業

- (1) 「神奈川県博物館協会会報」の発行
第89号 平成30年3月発行済 1,000部
- (2) 加盟館園職員名簿
平成29年9月発行済 350部
- (3) 広報誌「ぐるりかながわミュージアムマップ2017-2018」
平成29年11月発行済 20,000枚

4 県博物館協会ホームページの更新事業

- 加盟館園の個別情報等を更新
- ツイッターの運用
- 広報誌「ぐるりかながわミュージアムマップ2017-2018」をホームページ上に掲載

5 表彰事業

- (1) 神奈川県博物館協会表彰
功労者7名、永年勤続者9名を4月21日に表彰
- ア 功労者表彰

・神奈川県立金沢文庫	永村 眞 様
・神奈川県立歴史博物館	竹内 廣一 様
・神奈川県立歴史博物館	寺崎 弘康 様
・かわさき宙と緑の科学館	島田 秀雄 様
・観音崎自然博物館	故 石鍋 壽寛 様
・京急油壺マリンパーク	樺澤 洋 様
・遊行寺宝物館	遠山 元浩 様
- イ 永年勤続者表彰

・小田原市郷土文化館	岡 潔 様
・小田原市尊徳記念館	湯浅 浩 様
・神奈川県立生命の星・地球博物館	重永 ゆき 様
・神奈川県立フラワーセンター大船植物園	齋藤 九二夫 様
・神奈川県立歴史博物館	丹治 雄一 様
・川崎市岡本太郎美術館	片岡 香 様
・川崎市岡本太郎美術館	佐藤 玲子 様
・川崎市立日本民家園	澁谷 卓男 様
・藤沢市湘南台文化センターこども文化館	二階堂 宏範 様

- (2) 日本博物館協会顕彰
神奈川県博物館協会より顕彰者6名 11月29日～12月1日に開催された全国博物館大会（大分県大分市）にて表彰

- ・神奈川県立神奈川近代文学館 野見山 陽子 様
- ・川崎市岡本太郎美術館 佐々木 秀憲 様
- ・相模原市立博物館 加藤 隆 様
- ・平塚市博物館 澤村 泰彦 様
- ・平塚市博物館 馬 宏道 様
- ・平塚市博物館 浜野 達也 様

6 日本博物館協会事業への協力

- (1) 第65回全国博物館大会への参加
期日 平成29年11月29日（水）～12月1日（金）
会場 大分県大分市（大分県立美術館 総合文化センター）
出席者 神奈川県博物館協会 薄井会長
- (2) (国際博物館の日) 事業の周知
2017年テーマ「歴史と三向き合う博物館-博物館は何が語れるか-」

7 平成29年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部（理事会・総会）

- 日時 平成29年7月26日（木）
- 会場 静岡県立美術館 講義室
- 出席者 薄井会長、竹嶋副会長代理、目黒事務局長、小堀事務局員

平成29年度 収入支出決算書

総収入額 2,479,500円
 総支出額 2,096,918円
 差引残額 382,582円 (翌年度繰越金)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘要
1 会費	2,096,000	2,165,000	69,000	92館園 (H29) 3館園 (H28)
2 雑収入	7	587	580	預金利息、電話回線解約返還金
3 繰越金	313,913	313,913	0	平成28年度からの繰越
合計	2,409,920	2,479,500	69,580	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	残額 (A-B)	摘要
1 事務局費	631,920	463,970	167,950	
(1) 旅費	206,000	148,550	57,450	全国博物館大会参加旅費ほか
(2) 通信費	317,000	225,802	91,198	刊行物送付事務連絡ほか
(3) 印刷 消耗品費	108,920	89,618	19,302	封筒印刷代 事務用消耗品
2 会議費	62,000	27,466	34,534	役員会 部会等 大会参加費等
3 事業費	1,561,000	1,450,482	110,518	
(1) 研修費	230,000	266,371	△ 36,371	講師謝礼 会場使用料ほか
(2) 普及費	1,231,000	1,064,799	166,201	神奈川県博物館協会会報第89号 加盟館園職員名簿 かながわミュージアムマップ2017-2018 ホームページ経費
(3) 表彰費	100,000	119,312	△ 19,312	表彰状筆耕料・記念品代ほか
4 負担金	55,000	55,000	0	東海地区博物館連絡協議会 神奈川県自然保護協会 神奈川県観光協会
5 積立金	100,000	100,000	0	総合防災計画事業
合計	2,409,920	2,096,918	313,002	

平成29年度 神奈川県博物館協会総合防災計画事業 収入支出決算書

総収入額 1,105,614円
 総支出額 0円
 差引残額 1,105,614円 (翌年度繰越金)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘要
1 過年度繰入収入	1,005,605	1,005,605	0	60周年記念事業より繰入 905,597
2 積立金繰入収入	100,000	100,000	0	平成29年度積立金 100,000
3 雑収入	0	9	9	預金利息 9
合計	1,105,605	1,105,614	9	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	増減額 (A-B)	摘要
合計	0	0	0	

平成29年度神奈川県博物館協会役員名簿

会 長	神奈川県立歴史博物館長 薄 井 和 男	理 事	鶴岡八幡宮宝物殿館長 吉 田 茂 穂
副会長	横浜開港資料館長 上 山 和 雄	"	平塚市博物館長 澤 村 泰 彦
"	(株)新江ノ島水族館長 堀 由紀子	"	神奈川県立生命の星・地球博物館長 平 田 大 二
"	横浜市立野毛山動物園長 鈴 木 浩	"	箱根町立郷土資料館長 鈴 木 康 弘
理 事	神奈川県立金沢文庫長 湯 山 賢 一	"	箱根美術館長 内 田 篤 呉
"	(公財)三溪園保勝会 三溪園長 加 藤 祐 三	"	相模原市立博物館長 武 田 伸 彦
"	シルク博物館長 坂 本 英 介	"	大磯町郷土資料館長 國 見 徹
"	横浜市立野毛山動物園長 鈴 木 浩	監 事	かわさき宙と緑の科学館長 五十嵐 豊 和
"	横浜美術館経営管理グループ長 古 賀 美 弥 子	"	鎌倉国宝館長 鈴 木 良 明
"	川崎市市民ミュージアム館長 中 山 純 史	"	厚木市教育委員会文化財保護課長 増 田 裕 彦
"	神奈川県立フラワーセンター大船植物園長 山 元 恭 介		

平成30年度神奈川県博物館協会役員名簿

会 長	神奈川県立歴史博物館長 薄 井 和 男	理 事	鶴岡八幡宮宝物殿館長 吉 田 茂 穂
副会長	横浜開港資料館長 西 川 武 臣	"	新江ノ島水族館長 竹 嶋 徹 夫
"	横浜市立野毛山動物園長 鈴 木 浩	"	神奈川県立生命の星・地球博物館長 平 田 大 二
"	平塚市博物館長 澤 村 泰 彦	"	箱根町立郷土資料館長 鈴 木 康 弘
理 事	神奈川県立金沢文庫長 湯 山 賢 一	"	箱根美術館長 内 田 篤 呉
"	(公財)三溪園保勝会 三溪園長 加 藤 祐 三	"	相模原市立博物館長 武 田 伸 彦
"	シルク博物館長 坂 本 英 介	"	大磯町郷土資料館長 國 見 徹
"	横浜美術館経営管理グループ長 古 賀 美 弥 子	監 事	かわさき宙と緑の科学館長 五十嵐 豊 和
"	川崎市市民ミュージアム館長 大 野 正 勝	"	鎌倉国宝館長 鈴 木 良 明
"	神奈川県立大船フラワーセンター園長 榎 本 浩	"	厚木市教育委員会文化財保護課長 増 田 裕 彦

平成29年度神奈川県博物館協会部会幹事・事務局名簿

人文科学部会長	小田原市郷土文化館 大 貫 みあき	「神奈川県博物館協会総合防災計画推進委員会」 委員長	神奈川県立歴史博物館 角 田 拓 朗
人文科学部会幹事	神奈川県立歴史博物館 千 葉 毅	委 員	神奈川県立生命の星・地球博物館 (専任) 鈴 木 聡
”	日本新聞博物館 赤 木 孝 次	委 員	相模原市立博物館 木 村 弘 樹
”	横浜開港資料館 中 武 香奈美	”	横浜市歴史博物館 橋 口 豊
”	川崎市市民ミュージアム 村 山 翠	”	平塚市博物館 藤 井 大 地
自然科学部会長	横須賀市自然・人文博物館 内 船 俊 樹	”	観音ミュージアム 三 浦 浩 樹
自然科学部会幹事	新江ノ島水族館 大 内 豊	”	川崎市岡本太郎美術館 大 杉 浩 司
”	神奈川県立生命の星・地球博物館 田 口 公 則	「ミュージアムマップ委員会」 委員長	新江ノ島水族館 大 内 豊
”	馬の博物館 伊 丹 徳 行	委 員	小田原市郷土文化館 大 貫 みあき
”	横浜市立野毛山動物園 落 合 絵 美	”	馬の博物館 伊 丹 徳 行
機能研究部会長	相模原市立博物館 木 村 弘 樹	”	新江ノ島水族館 大 内 豊
機能研究部会幹事	横浜市歴史博物館 橋 口 豊	”	横浜市立野毛山動物園 落 合 絵 美
”	平塚市博物館 藤 井 大 地	”	川崎市市民ミュージアム 村 山 翠
”	観音ミュージアム 三 浦 浩 樹	”	”
”	川崎市岡本太郎美術館 大 杉 浩 司	事務局 事務局長	神奈川県立歴史博物館 副館長 目 黒 節 子
”	神奈川県立歴史博物館 角 田 拓 朗	事務局次長	神奈川県立歴史博物館企画情報部長 兼学芸部長 天 野 勇
”	神奈川県立生命の星・地球博物館 鈴 木 聡	事務局員 (会計)	神奈川県立歴史博物館 副主幹 佐 藤 好 枝
「神奈川県博物館協会会報」第89号編集委員会 (平成29年度) 委員長	神奈川県立生命の星・地球博物館 田 口 公 則	”	神奈川県立歴史博物館 専門員 (事務) 小 堀 信 夫
委 員	神奈川県立歴史博物館 千 葉 毅		
”	日本新聞博物館 赤 木 孝 次		
”	横浜開港資料館 中 武 香奈美		
”	横須賀市自然・人文博物館 内 船 俊 樹		

平成30年度神奈川県博物館協会部会幹事・事務局名簿

人文科学部会長	横浜市歴史博物館 橋 口 豊	「神奈川県博物館協会総合防災計画推進委員会」	委員長	神奈川県立生命の星・地球博物館 鈴 木 聡
人文科学部会幹事	神奈川県立歴史博物館 千 葉 毅		委 員	相模原市立博物館 木 村 弘 樹
”	日本新聞博物館 赤 木 孝 次		”	平塚市博物館 藤 井 大 地
”	横浜開港資料館 中 武 香奈美		”	観音ミュージアム 三 浦 浩 樹
”	川崎市市民ミュージアム 谷 拓 馬		”	川崎市立日本民家園 関 悦 子 (2018.4.1～9.20)
”	箱根町立郷土資料館 高 橋 秀 和		”	川崎市立日本民家園 小柳津 貴 子 (2018.9.21～)
自然科学部会長	神奈川県立生命の星・地球博物館 田 口 公 則			
自然科学部会幹事	横浜市立野毛山動物園 落 合 絵 美	「ミュージアムマップ委員会」	委員長	横浜市立野毛山動物園 落 合 絵 美
”	平塚市博物館 藤 井 大 地		委 員	川崎市市民ミュージアム 谷 拓 馬
”	新江ノ島水族館 伊 藤 寿 茂		”	馬の博物館 廣 瀬 薫
”	馬の博物館 廣 瀬 薫		”	新江ノ島水族館 伊 藤 寿 茂
機能研究部会長	相模原市立博物館 木 村 弘 樹	「広報委員会」	委員長	神奈川県立歴史博物館 千 葉 毅
機能研究部会幹事	観音ミュージアム 三 浦 浩 樹		委 員	横浜市歴史博物館 橋 口 豊
”	神奈川県立生命の星・地球博物館 鈴 木 聡		”	箱根町立郷土資料館 高 橋 秀 和
”	横須賀市自然・人文博物館 瀬 川 涉			
”	川崎市立日本民家園 関 悦 子 (2018.4.1～9.20)		事務局	
”	川崎市立日本民家園 小柳津 貴 子 (2018.9.21～)		事務局長	神奈川県立歴史博物館 副館長 目 黒 節 子
「神奈川県博物館協会会報」第90号編集委員会(平成30年度)			事務局次長	神奈川県立歴史博物館学芸部長 望 月 一 樹
委員長	神奈川県立生命の星・地球博物館 田 口 公 則		事務局員(会計)	神奈川県立歴史博物館 副主幹 佐 藤 好 枝
委 員	神奈川県立歴史博物館 千 葉 毅		”	神奈川県立歴史博物館 専門員(事務) 小 堀 信 夫
”	日本新聞博物館 赤 木 孝 次			
”	横浜開港資料館 中 武 香奈美			
”	横須賀市自然・人文博物館 瀬 川 涉			

神奈川県博物館協会会則

議決 昭和30年11月20日 最終改正 平成15年 4月25日

(名称)

第1条 本会は、神奈川県博物館協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を横浜市中区南仲通5の60番地、神奈川県立歴史博物館内に置く。

(目的)

第3条 本会は、博物館相互の連携をはかり、博物館活動の振興に努め、もって、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館相互の連絡と提携
- (2) 博物館事業に関する調査研究
- (3) 研究会、研修会等の開催
- (4) 機関紙の発行、研究成果の発表
- (5) 資料の交換・貸借のあっせん及び共同事業の企画・促進
- (6) その他目的達成に必要な事業

(会員)

第5条 本会の会員は、神奈川県内にある博物館及びこれに準ずる施設とする。ただし、個人であっても本会の運営に貢献度の高い者は、役員会の議を経て特別会員とすることができる。

(会費)

第6条 会員は、総会において別に定めるところにより、会費を負担しなければならない。

(入会)

第7条 本会に入会しようとするときは、入会申込書を会長に提出しなければならない。

2 会長は、関係書類を審査の上これを専決し、直近の役員会に報告するものとする。

(退会)

第8条 会員は、退会しようとするときは、その旨を会長に届け出なければならない。

(会員資格の消滅)

第9条 会員が2年継続して会費を負担しなかったときは、会員資格が消滅するものとする。

(役員)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 理事 25名以内（会長、副会長を含む。）
- (4) 監事 3名

(役員を選任)

第11条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 会長及び副会長は、理事の互選とする。

(役員職務)

第12条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 副会長の事務分掌については、会長が別に定める。

4 理事は、会務の執行にあたる。

5 監事は、会務及び会計を監査する。

(役員任期)

第13条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 欠員補充による役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会の開催)

第14条 総会は、会長が招集し、年1回以上開催するものとし、そのうち1回は、年度の初めとする。

(総会の定足数)

第15条 総会は、会員の過半数以上の出席をもって成立する。ただし、委任状の提出があれば出席とみなす。

(総会の議事)

第16条 総会は、会長が議長となり、この規約に別に定めがあるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 事業計画に関すること。
- (2) 予算及び決算の承認に関すること。
- (3) 会則の改廃に関すること。
- (4) 会費の額の決定に関すること。
- (5) その他会長が必要と認めた事項

2 議事は、出席した会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(役員会の開催)

第17条 役員会は、会長が必要と認めたときに開催する。

(役員会の定足数)

第18条 役員会は、理事の過半数以上の出席をもって成立する。ただし、委任状の提出があれば出席とみなす。

(役員会の議事)

第19条 役員会は、会長が議長となり、この規約に別に定めるもののほか、次の事項について議決する。

- (1) 総会の議決した事項の執行に関すること。
 - (2) 総会に付議すべき事項
 - (3) その他総会の議決を要しない本会の業務の執行に関する事項
- 2 議事は、出席した理事の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部 会)

第20条 本会の業務を円滑に推進するため、会員により構成する次の部会を置く。

- (1) 自然科学部会
 - (2) 人文科学部会
 - (3) 機能研究部会
- 2 各部会には、部会員の互選により、部会長1名及び幹事若干名を置く。
- 3 部会長及び幹事は、部会を運営する。
- 4 部会長は、役員会に出席し、部会の運営状況について報告するとともに、意見を述べることができる。
- 5 部会長及び幹事の任期は、役員会の任期に準ずる。
- 6 部会に必要な事項は、会長が役員会の議を経て別に定める。

(名誉会長・顧問・参与)

第21条 本会に名誉会長、顧問及び参与を置くことができる。

2 名誉会長は、総会において推挙し、顧問及び参与は、役員会の推薦により会長が委嘱する。

3 名誉会長は、本会の運営について助言し、顧問及び参与は、会長の諮問に応じ、役員会に出席して意見を述べることができる。

(経 費)

第22条 本会の経費は、会費、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第23条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第24条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長1名、事務局次長1名及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長、事務局次長及び事務局員は、会長が任免する。

(委 任)

第25条 本会の運営に関し、この会則に定めのない事項については、役員会の議を経て、会長が別に定める。

付 則

本会則は、平成15年4月25日から施行する。

神奈川県博物館協会総合防災計画

平成28年4月28日 策定・施行

1 趣 旨

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、さらには多くの文化財の毀損をももたらした。この教訓を踏まえ、現在90を越える加盟館園数となっている当協会では、今後も発生が想定される広域災害における文化財救済に一定の役割を果たす体制を構築することとし、平時から相互に協力しあいながら有事に備えるため、総合防災計画を策定する。

2 活動の内容

当協会としての活動は、平時の際には、役員会と適宜協議の上、部会幹事及び協会事務局が中心となり有事の備えとして必要な活動を行い、有事の際には、総合対策本部・現地対策本部を立ち上げ、部会幹事及び事務局が中心となり、加盟館園職員の協力を得て、救済計画を実施するものとする。

当協会としての活動は、①平時、②発生直後（一次救済）、③復興期（二次救済）の3段階において実施することとし、各段階の実施する活動は、次のとおりとする。

なお、本活動の具体的運用のために、別途、要綱を定めることとする。

①平時

- ・連絡網の整備〔ブロック化及び幹事館園の選定事務、連絡調整方法の検討等〕
- ・各館園の収蔵品の把握及びその目録・データベースのバックアップ支援
- ・災害復興用の資金及び備蓄の管理〔物資、人材等の把握含む。〕
- ・防災訓練、関連実技研修会、県民向け普及啓発事業等の実施
- ・本計画内容の修正〔県及び県内市町村との調整、他機関等のヒアリング含む。〕

②発生時（一次救済）

- ・連絡網の運用と被害の把握
- ・総合対策本部並びに現地対策本部の設置
- ・支援計画の策定と運用〔人員、物資、資金等の供出等〕

③復興期（二次救済）

- ・支援計画の継続運用
- ・関係機関等との連絡調整の補助

3 活動の経費

本活動に要する経費は、神奈川県博物館協会60周年記念事業にかかる積立金残金を原資とし、以後、毎年度予算の範囲内で一定の金額を積み増して確保することとする。

4 計画の運用

本計画及び2により定める要綱の運用状況については、毎年1回総会に報告する。

本計画の改廃については、役員会の協議を経て、総会が決定する。

また、2により定める要綱については、役員会が協議の上制定する。

なお、制定後役員会が要綱の改正を行った場合には、改正後速やかに会員に周知する。

神奈川県博物館協会災害時相互救済活動要綱

1 目的

本要綱は、神奈川県博物館協会総合防災計画（平成28年4月28日策定・施行）2に基づき、広域災害が発生した際に、博物館資料の次世代への継承や博物館活動の速やかな復旧に資するよう、各加盟館園が相互に救済しあい、被災資料の救済と保存安定化、被災博物館施設等の復旧等を行うことを目的とする。

2 対象

本要綱に基づく活動の対象は、神奈川県博物館協会に加盟する館園の所蔵資料及びその施設等とする。

3 体制

本活動は、すべての加盟館園が行うものとする。また、活動の効率化を図るべく、県域を複数のブロックに分割し、そのブロック単位で情報の収集や発信等を図るものとする。

(1) ブロックの分割方法

ブロックは、地理的な特性や館園の数などを考慮し定めるものとする。具体には、隔年ごとの基礎アンケートの集計結果をもとに、役員会において協議の上、定めるものとする。

(2) 幹事館園の設置

当該ブロックの情報収集と発信を担うため、ブロックごとに幹事館園を定める。なお、幹事館園に不測の事態が生じた場合を想定し、幹事館園の補佐を行う館園として幹事補佐館園も定める。具体には、隔年ごとの基礎アンケートの集計結果をもとに、役員会の協議により候補館園を挙げ、候補館園の同意を得て定める。

(3) 代表幹事館園の設置

幹事館園のとりまとめを行う代表幹事館園を定める。代表幹事館園は、当協会事務局が設置されている神奈川県立歴史博物館とする。神奈川県立歴史博物館が被災または不測の事態が生じた場合には、幹事館園の互選により、その代理を務めるものとする。

4 救済活動

具体的な救済活動は、次のとおりとする。

(1) 災害の発生時

加盟館園は、次の各号に該当する災害等が発生した場合、被災状況を事務局及び当該ブロックの幹事館園に提供するものとする。また、被災状況の報告はないが被災が推定される館園が存在する場合には、当該ブロック内の幹事館園は、情報をとりまとめ、事務局に提供するものとする。

- ①震度5以上の地震が発生した場合
- ②集中豪雨等による水害が発生した場合
- ③その他、甚大な被害を伴う災害等が発生した場合

(2) 救済活動実施の決定

事務局は、収集した情報を速やかに会長へ報告する。会長は、その報告に基づき、救済活動実施の是非を決定するものとする。なお、会長に事故あるときは、副会長または役員が決定するものとする。

(3) 一次救済（資料の救済計画の立案等）

会長は、救済活動の実施を決定した場合には、直ちに総合対策本部を設置するとともに、必要に応じて幹事館園等の協力を得て現地対策本部を設置する。総合対策本部又は現地対策本部は、一次救済として、被災館園の情

報収集、それに基づく救済計画の策定、現場作業の実施等を行うものとする。なお、被災し劣化が激しい資料、あるいは今後現状では確実に被災の恐れのある資料については、現場の判断により、緊急避難させるものとする。

①総合対策本部の設置

会長は、代表幹事館園に総合対策本部を設置し、次の業務を行う。事務局は総合対策本部の事務局として、その経理事務等を行うものとする。

- i 救済活動開始の連絡
- ii 救済計画の策定
- iii 要員及び機材などの手配
- iv 現地対策本部への指示と支援
- v 自治体、外部団体等との連絡調整

②現地対策本部の設置

会長は、被災ブロックの幹事館園に依頼し、現地対策本部を設置する。なお、当該館園に事故あるときは、幹事補佐館園がその任を務めるものとする。また、当該ブロック全域が被災し、その幹事館園または幹事補佐館園が務めを果たせない場合には、近隣ブロックの幹事館園に現地対策本部を設置するものとする。

- i 救済要員等に対する救済計画の説明
- ii 要員、機材などの受入
- iii 現場作業の指示
- iv 総合対策本部他との連絡調整

(4) 二次救済（資料の修復保管等）

本活動における二次救済では、被災した資料、または被災する恐れのある資料の保管や修復を行うものとする。

①総合対策本部の業務

- i 救済計画の策定
- ii 要員及び機材などの手配
- iii 現地対策本部への指示と支援
- iv 自治体、外部団体等との連絡調整

②現地対策本部の業務

- i 救済要員等に対する救済計画の説明
- ii 要員、機材などの受入
- iii 現場作業の指示
- iv 総合対策本部他との連絡調整

(5) 救済完了

総合対策本部及び現地対策本部を解散する場合には、以下の条件を満たすこととする。また、両本部の解散をもって、本要綱に基づく救済は完了とする。

- ①総合対策本部が現地対策本部から作業等の完了の報告を受け、了承すること
- ②事業完了について、関係する外部組織・団体等に報告、周知すること

5 平時の活動

(1) 平時においては、次の活動を着実に実行することとする。

- ①連絡網の作成とその年次更新
- ②加盟館園基礎データ収集のための隔年アンケートの実施
- ③防災訓練
- ④災害対策に資する研修会
- ⑤その他本活動に資する事業

(2) 本活動の企画並びに実施は、部会が行うこととする。

6 経費

本活動に要する経費は、神奈川県博物館協会総合防災計画（平成28年4月28日策定・施行）3に定める財源により賄うものとする。

7 庶務

本救済活動に関する庶務は、事務局において処理するものとする。

8 その他

本要綱に定めのない事項については、会長が別に定めるところによるものとする。

付 則

本要綱は、平成28年4月28日から施行する。

神奈川県博物館協会総合防災計画に基づく積立金の取り扱いに関する要綱

1 目的

本要綱は、神奈川県博物館協会総合防災計画（平成28年4月28日策定・施行。以下「総合防災計画」という。）3に基づく積立金の取扱いに関して必要な事項を定める。

2 会計

積立金額及びその執行状況を常に明らかにするため、積立金の会計は、通常の会計とは別に設ける。

3 原資及び積立額

積立金の原資は、神奈川県博物館協会60周年記念事業にかかる積立金残金とし、以後、毎年度おおむね10万円程度を目途に積み増すこととする。

4 積立金の執行基準

積立金は、総合防災計画に基づき協会が行う相互救済活動に要する経費に使用することとし、具体的には次表のとおりとする。

なお、平時に執行する経費は、年度ごとの積増し額のおおむね1/2程度とする。

5 被災館園への資機材等提供方法

被災館園の資機材等の提供方法については、購入等経費の負担のほか現物支給も可能とし、また併用も可能とする。なお、提供後は、被災館園の協力を得て受取証や領収証等支払関係書類を整理するものとする。

6 庶務

本要綱に基づく庶務については、事務局において処理するものとする。

7 その他

本要綱に定めのない事項については、会長が別に定めるところによるものとする。

付 則

本要綱は、平成29年4月21日から施行する。

	区 分	内 容	例 示
1	平 時	①防災用備蓄品の購入経費	防災用品・資料保存用消耗品の購入 等
		②防災研修会・シンポジウム開催経費	資料作成代、会場借上費、講師謝金、消耗品費 等
2	災害発生時	①被災館園から要望された資機材の購入経費等	消耗品費、備品購入費、賃借料、見舞金 等
		②被災館園のレスキュー実施に要する経費	交通費、消耗品費 等
3	その他	1及び2以外の経費で会長が必要と認める経費	日本博物館協会等が行うレスキュー活動への参加経費 等

神奈川県博物館協会加盟館園名簿（五十音順）

（平成31年2月1日現在）

（事務局）231-0006 横浜市中区南仲通5-60 神奈川県立歴史博物館内

TEL045-201-0926 FAX045-201-7364

愛川町郷土資料館	電車とバスの博物館
あつぎ郷土博物館	東芝未来科学館
岩崎博物館（ゲート座記念）	ニュースパーク（日本新聞博物館）
馬の博物館	日本大学生物資源科学部博物館
ANTIQUE MUSEUM 江戸民具街道	日本郵船歴史博物館
江島神社奉安殿	箱根写真美術館
海老名市郷土資料館 海老名市温故館	箱根神社宝物殿
大磯町郷土資料館	箱根町立郷土資料館
大佛次郎記念館	箱根町立箱根湿生花園
小田原市郷土文化館	箱根町立森のふれあい館
小田原市尊徳記念館	箱根美術館
小田原城	箱根ジオミュージアム
海外移住資料館	秦野市立桜土手古墳展示館
神奈川県立神奈川近代文学館	葉山しおさい博物館
神奈川県立金沢文庫	光と緑の美術館
神奈川県立近代美術館	平塚市博物館
神奈川県立公文書館	藤沢市生涯学習部郷土歴史課
神奈川県立生命の星・地球博物館	藤沢市湘南台文化センターこども館
神奈川県立地球市民かながわプラザ	ブリキのおもちゃ博物館
神奈川県立大船フラワーセンター	報徳福運社報徳博物館
神奈川県立歴史博物館	松前記念館（東海大学 歴史と未来の博物館）
鎌倉宮宝物殿	真鶴町立遠藤貝類博物館
鎌倉国宝館	真鶴町立中川一政美術館
川崎砂子の里資料館	明治大学平和教育登戸研究所資料館
川崎市岡本太郎美術館	山口蓬春記念館
川崎市市民ミュージアム	山手資料館
川崎市平和館	大和市つる舞の里歴史資料館
かわさき宙（そら）と緑の科学館	町立湯河原美術館
川崎市立日本民家園	遊行寺宝物館
観音崎自然博物館	横須賀市自然・人文博物館
観音ミュージアム	横浜開港資料館
鎌倉・吉兆庵美術館	横浜市立金沢動物園
記念艦三笠	横浜市技能文化会館匠プラザ
熊野郷土博物館	横浜市こども植物園
京急油壺マリパーク	横浜市立野毛山動物園
相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら	横浜市立間門小学校附属海水水族館
相模原市立博物館	横浜市歴史博物館
寒川神社 方徳資料館	横浜水道記念館
三溪園	横浜高島屋ギャラリー
三之宮郷土博物館	よこはま動物園 ズーラシア
松蔭大学資料館	横浜都市発展記念館
女子美アートミュージアム	横浜人形の家
シルク博物館	横浜・八景島シーパラダイス・アクアリゾート
新江ノ島水族館	横浜美術館
逗子市郷土資料館	横浜本牧絵画館
創価学会戸田平和記念館	横浜みなと博物館
そごう美術館	横浜ユーラシア文化館
茅ヶ崎市美術館	若宮八幡宮郷土資料室
茅ヶ崎市文化資料館	
彫刻の森美術館	
鶴岡八幡宮宝物殿	

* 各館園の詳細は各WEBページをご覧ください。